



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 株式会社アイロムグループ 上場取引所 東
コード番号 2372 URL <https://www.iromgroup.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 豊隆
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営管理・人事労務センター担当 (氏名) 犬飼 広明 TEL 03 (3264) 3148
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	13,907	8.1	784	△3.1	845	△25.5	365	△62.5
2024年3月期第3四半期	12,868	△7.4	810	△73.2	1,134	△61.2	972	△56.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 309百万円 (△70.7%) 2024年3月期第3四半期 1,057百万円 (△53.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	30.16	—
2024年3月期第3四半期	80.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	35,555	13,075	36.8
2024年3月期	37,148	12,772	34.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 13,075百万円 2024年3月期 12,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	0.00	40.00
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

2024年5月13日付「MBOの実施予定及び応募の推奨に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、公開買付者による本公開買付け及びその後の一連の手続きを実施することにより当社株式が上場廃止となる予定であることから2025年3月期の業績予想は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	12,338,365株	2024年3月期	12,338,365株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	233,112株	2024年3月期	230,993株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	12,106,344株	2024年3月期3Q	12,107,542株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、創業以来の中核事業であるSMO事業及びCRO事業の拡大を推進するとともに、グループ戦略として、SMO事業及びCRO事業で創出される資金を原資として、先端医療事業及び創薬事業における医薬品や先端医療技術の開発、メディカルサポート事業のノウハウを活かした設備投資等を行うことで、各事業の事業基盤を強化し、多様化・高度化する市場の要求に応えることができる製品・サービスの品質向上及び研究開発力の強化を実現しています。

引き続き変革と革新に取り組み、グループシナジーをさらに拡大し競争優位性を高めることで、さらなる飛躍に向けた中長期的な企業価値の向上にも取り組んでいます。

SMO事業においては、引き続き基幹病院との提携拡大及びがんや難治性疾患を含むあらゆる疾患領域の試験の受託が可能な体制の構築を推進することにより、安定した収益基盤を構築しています。当第3四半期連結累計期間においては、複数の短期収益型大型案件が開始し、順調に進捗したことにより業績が伸長しています。医薬品開発を取り巻く環境の変化及び複雑化・高度化する臨床試験に迅速かつ柔軟に対応するため、より高度な人材教育の体制構築を推進するとともに、採用強化により人員拡大にも注力しており、事業基盤のさらなる拡充を進めています。

CRO事業においては、オーストラリアの臨床試験実施施設における新規試験の受託が堅調に推移し、業績が大きく拡大しています。国内事業においてもアカデミアをはじめとした新規試験の受託の推進に加え、受託業務の拡大や統計解析分野のさらなる強化により企業治験の受託拡大にも取り組んでいます。

先端医療事業及び創薬事業においては、当社グループの各パイプラインの開発を推進しており、実施中の臨床試験が順調に進捗しています。当セグメントでは、臨床試験をはじめとする研究開発にかかる経費が引き続き発生しておりますが、ライセンス事業や化粧品の販売及びOEM事業などの当セグメントにおける各事業の推進により収益の改善を図っています。

その結果、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は13,907百万円（前年同四半期比8.1%増）、営業利益は784百万円（前年同四半期比3.1%減）、経常利益は845百万円（前年同四半期比25.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は365百万円（前年同四半期比62.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① SMO事業

当セグメントにおきましては、引き続きアンメット・メディカル・ニーズの高いがんや難治性疾患等の疾患領域の開発が増加しているため、専門医療センターや大学病院等の基幹病院との提携を拡大し、あらゆる疾患領域の試験の受託が可能な体制構築を推進しています。一方で、がんや難治性疾患等の試験と比較して1試験当たりの規模が大きいプライマリー領域の試験の受託も推進しており安定した収益基盤を構築しています。当第3四半期連結累計期間においては、複数の短期収益型大型案件が開始し、順調に進捗したことにより業績が伸長しています。

また、医薬品・医療機器等の開発はグローバル化や開発期間の短縮化が進むとともに、開発手法の変化により臨床試験に対するニーズの多様化が続いています。当社グループのSMO事業では、医薬品開発を取り巻く環境の変化及び複雑化・高度化する臨床試験に迅速かつ柔軟に対応するため、より高度な人材教育の体制構築を推進するとともに、採用強化により人員拡大にも注力することで、事業基盤のさらなる拡充に取り組んでいます。

その結果、売上高は7,151百万円（前年同四半期比12.2%増）、営業利益は2,582百万円（前年同四半期比9.6%減）となりました。

② CRO事業

当セグメントにおきましては、日本・オーストラリア両国にて保有する臨床試験実施施設において、欧米や日本を含むアジア・オセアニア地域の製薬企業等の早期段階の医薬品開発を支援しています。また、国内において、国内外の製薬企業の臨床試験や申請業務等の支援を行うとともに、医師主導治験や臨床研究の支援を行っています。

当第3四半期連結累計期間においては、オーストラリアの臨床試験実施施設における新規試験の受託が堅調に推移し、業績が大きく拡大しています。国内事業においてもアカデミアをはじめとした新規試験の受託の推進に加え、受託業務の拡大や統計解析分野のさらなる強化により企業治験の受託拡大にも取り組んでいます。

その結果、売上高は5,129百万円（前年同四半期比16.1%増）、営業利益は64百万円（前年同四半期比25.0%増）となりました。

③ 先端医療事業

当セグメントにおきましては、COVID-19ワクチンの開発において、第I相臨床試験を実施しています。

また、iPS細胞作製キット「CytoTune-iPS」のライセンス事業を推進しており、基盤技術であるセンダイウィルスベクターを用いた新たな事業機会の創出に取り組んでいます。

当セグメントでは、新しい医薬品・医療技術の研究開発に注力しており、その経費が引き続き発生しておりますが、ライセンス事業や化粧品の販売及びOEM事業などの当セグメントにおける各事業の推進により収益の改善を図っています。

その結果、売上高は857百万円（前年同四半期比22.2%減）、営業損失は106百万円（前年同四半期は営業損失127百万円）となりました。

④ 創薬事業

当セグメントにおきましては、海外の大手製薬企業とのライセンス契約に基づき、バイオシミラーの国内共同開発を進めています。

バイオシミラー開発は、国際共同第III相試験を実施中であり、2027年度の上市を目指し開発を進めています。また、実施中の臨床試験だけでなく、様々な可能性の検討にも取り組んでおり、それらの開発費用が発生しています。

その結果、営業損失は322百万円（前年同四半期は営業損失507百万円）となりました。

⑤ メディカルサポート事業

当セグメントにおきましては、開発事業者や不動産会社などと連携して、駅からのアクセスや地域の医療機関の需要など、様々な条件を満たす主に新築の物件を厳選してクリニックモールを開設しています。また、クリニックモールでの開業を検討する医師に対して開業支援を手がけるとともに、開業後の医療機関に臨床試験を紹介するなどその経営を多角的に支援しており、収益を確保しています。

その結果、売上高は761百万円（前年同四半期比1.6%増）、営業利益は114百万円（前年同四半期は営業利益1百万円）となりました。

⑥ その他

その他の事業におきましては、上記以外の事業等により、売上高は7百万円（前年同四半期比96.7%減）、営業損失は110百万円（前年同四半期は営業損失74百万円）となりました。

（注）売上高は外部取引のみの合計であり、セグメントの営業利益は、セグメント間の内部取引による利益を含んだ合計であります。

（2）財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末より1,593百万円減少し、35,555百万円となりました。これは工具器具備品及び現金及び預金が減少したことが主な要因となっております。

負債につきましては、前連結会計年度末より1,896百万円減少し、22,479百万円となりました。これは1年以内返済予定の長期借入金及び長期借入金が減少したことが主な要因となっております。

純資産につきましては、前連結会計年度末より303百万円増加し、13,075百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことが主な要因となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,236	6,502
売掛金	4,464	4,362
商品及び製品	80	85
仕掛品	297	364
原材料及び貯蔵品	347	342
短期貸付金	634	496
預け金	1,432	1,489
その他	1,333	1,240
貸倒引当金	△383	△383
流動資産合計	15,442	14,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,239	7,383
工具、器具及び備品（純額）	1,944	1,037
機械装置及び運搬具（純額）	916	1,170
土地	2,528	2,522
建設仮勘定	3,094	2,674
有形固定資産合計	15,723	14,789
無形固定資産		
のれん	841	750
その他	46	113
無形固定資産合計	887	864
投資その他の資産		
投資有価証券	2,238	2,287
長期貸付金	234	243
差入保証金	1,473	1,482
繰延税金資産	15	83
その他	1,132	1,303
投資その他の資産合計	5,094	5,401
固定資産合計	21,705	21,055
資産合計	37,148	35,555

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	647	426
短期借入金	6,360	6,360
1年内返済予定の長期借入金	2,346	1,982
未払法人税等	316	460
契約負債	542	579
リース債務	208	213
その他	2,094	2,021
流動負債合計	12,515	12,044
固定負債		
長期借入金	9,756	8,296
繰延税金負債	—	36
資産除去債務	147	177
預り保証金	390	392
退職給付に係る負債	162	161
リース債務	1,291	1,133
その他	111	235
固定負債合計	11,860	10,434
負債合計	24,375	22,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,899	3,899
資本剰余金	1,495	1,495
利益剰余金	7,604	7,970
自己株式	△424	△430
株主資本合計	12,574	12,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140	104
為替換算調整勘定	57	37
その他の包括利益累計額合計	197	141
純資産合計	12,772	13,075
負債純資産合計	37,148	35,555

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	12,868	13,907
売上原価	7,328	8,283
売上総利益	5,540	5,623
販売費及び一般管理費		
役員報酬	378	394
給料手当及び賞与	1,799	2,182
賃借料	374	532
研究開発費	521	130
その他	1,655	1,598
販売費及び一般管理費合計	4,729	4,838
営業利益	810	784
営業外収益		
受取利息	17	21
受取配当金	0	0
為替差益	295	175
持分法による投資利益	—	10
有価証券運用益	80	—
受取賃貸料	146	275
その他	134	116
営業外収益合計	675	599
営業外費用		
支払利息	131	157
持分法による投資損失	7	—
有価証券運用損	1	21
賃貸収入原価	141	299
その他	67	60
営業外費用合計	351	539
経常利益	1,134	845
特別利益		
固定資産売却益	211	129
特別利益合計	211	129
特別損失		
固定資産売却損	—	34
固定資産除却損	7	0
特別損失合計	7	34
税金等調整前四半期純利益	1,337	939
法人税、住民税及び事業税	342	590
法人税等調整額	23	△16
法人税等合計	365	574
四半期純利益	972	365
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	972	365
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	△36
為替換算調整勘定	25	△19
その他の包括利益合計	84	△55
四半期包括利益	1,057	309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,057	309
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	733百万円	778百万円
のれんの償却額	90百万円	84百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益及び 包括利益 計算書 計上額 (注3)
	SMO事業	CRO事業	先端医療 事業	創薬事業	メディカル サポート 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	6,373	4,418	1,101	-	749	12,643	224	12,868	-	12,868
セグメント間の内部 売上高又は振替高	617	938	1,225	-	664	3,446	41	3,487	△3,487	-
計	6,991	5,357	2,326	-	1,414	16,089	266	16,355	△3,487	12,868
セグメント利益 又は損失(△)	2,855	51	△127	△507	1	2,272	△74	2,198	△1,388	810

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,388百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,411百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益及び 包括利益 計算書 計上額 (注3)
	SMO事業	CRO事業	先端医療 事業	創薬事業	メディカル サポート 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	7,151	5,129	857	-	761	13,899	7	13,907	-	13,907
セグメント間の内部 売上高又は振替高	455	534	779	-	884	2,654	-	2,654	△2,654	-
計	7,607	5,663	1,636	-	1,646	16,554	7	16,561	△2,654	13,907
セグメント利益 又は損失(△)	2,582	64	△106	△322	114	2,331	△110	2,221	△1,436	784

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,436百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,558百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

前連結会計年度から、「創薬事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

(重要な後発事象の注記)

当社は、2024年5月13日付「MBOの実施予定及び応募の推奨に関するお知らせ」において公表しておりました、いわゆるマネジメント・バイアウト（MBO）（注）の一環として行われるビー・エクス・ジェイ・ビー・ツー・ホールディング株式会社（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する金融商品取引法（昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。以下「法」といいます。）に基づく公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、公開買付者より、2025年2月3日を公開買付開始日として本公開買付けを開始したい旨の連絡を受けて、2025年1月31日、会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。）第370条による取締役会決議（書面決議）により、改めて本公開買付けに対して賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けに応募することを推奨する旨の決議をいたしました。

なお、当社の上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続を経て、当社を公開買付者の完全子会社化することを企図していること、当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

詳細につきましては、2025年1月31日に公表いたしました「ビー・エクス・ジェイ・ビー・ツー・ホールディング株式会社による株式会社アイロムグループ（証券コード 2372）に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」及び「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 「マネジメント・バイアウト（MBO）」とは、一般に、買収対象会社の経営陣が、買収資金の全部又は一部を出資して、買収対象会社の事業の継続を前提として買収対象会社の株式を取得する取引をいいます。

1. 公開買付者の概要

(1) 名称	ビー・エクス・ジェイ・ビー・ツー・ホールディング株式会社
(2) 所在地	東京都港区虎ノ門五丁目1番4号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 坂本 篤彦
(4) 事業内容	1. 株式、社債等の有価証券への投資、保有及び運用 2. 前号に付帯関連する一切の業務
(5) 資本金	1円
(6) 設立年月日	2024年4月22日
(7) 大株主及び持株比率	ビー・エクス・ジェイ・ビー・ワン・ホールディング株式会社 100%
(8) 当社と公開買付者の関係	
資本関係	公開買付者と当社との間には、記載すべき資本関係はありません。
人的関係	公開買付者と当社との間には、記載すべき人的関係はありません。
取引関係	公開買付者と当社との間には、記載すべき取引関係はありません。
関連当事者への該当状況	公開買付者は、当社の関連当事者には該当しません。

2. 本公開買付の概要

(1) 買付け等の期間

2025年2月3日（月曜日）から2025年3月4日（火曜日）まで（20営業日）

(2) 当社の請求に基づく延長の可能性

法第27条の10第3項の規定により、当社から公開買付期間の延長を請求する旨の記載がされた意見表明報告書が提出された場合、公開買付期間は30営業日、2025年3月18日（火曜日）までとなります。

(3) 買付け等の価格

普通株式1株につき、金2,800円

(4) 公開買付け予定の当社株式数

買付予定数 10,450,447株

買付予定数の下限 6,415,200株

買付予定数の上限 一株

(5) 公開買付開始公告日

2025年2月3日（月曜日）